

TERENCE

V70折りたたみ電子ピアノ 取扱説明書



使用前に必ずこの説明書をお読みください

目次

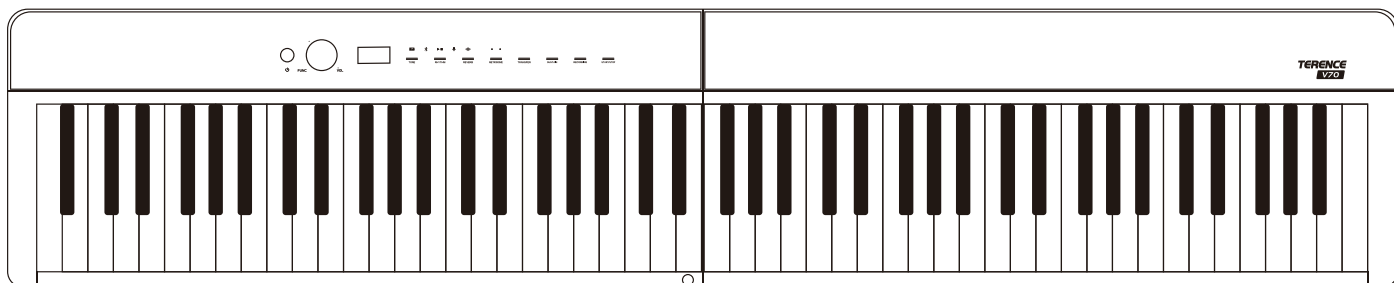
機能紹介

商品外観	1
機能キーの紹介	1
機能インジケーター	1
拡張インターフェース	2
折りたたみスイッチ	2
楽譜スタンドの取り付け説明	2
電源スイッチ	3
機能選択と回転ボタン	3
トーン(Tone)	3
リズム(RHY)	3
リバーブ空間効果+デモ曲機能	3
メトロノーム機能	3
トランスポーズ(Transfer)機能	4
サステインペダル機能	4
録音(Rec)機能	4
スタート/ストップ機能	4
タッチレスポンス設定	4
デュアルキーボード機能	4-5
デュアルトーン機能	5
ビブラート機能	5
シンクロ機能	5
サステイン機能	5
Bluetooth オーディオ機能	6
キーボードドラム機能	6
工場出荷設定にリセット	6
複合機能の使用方法	6
デモ曲リスト	7
トーンリスト	7
リズムリスト	8
トラブル対応	9
製品仕様	10
注意事項	10-12

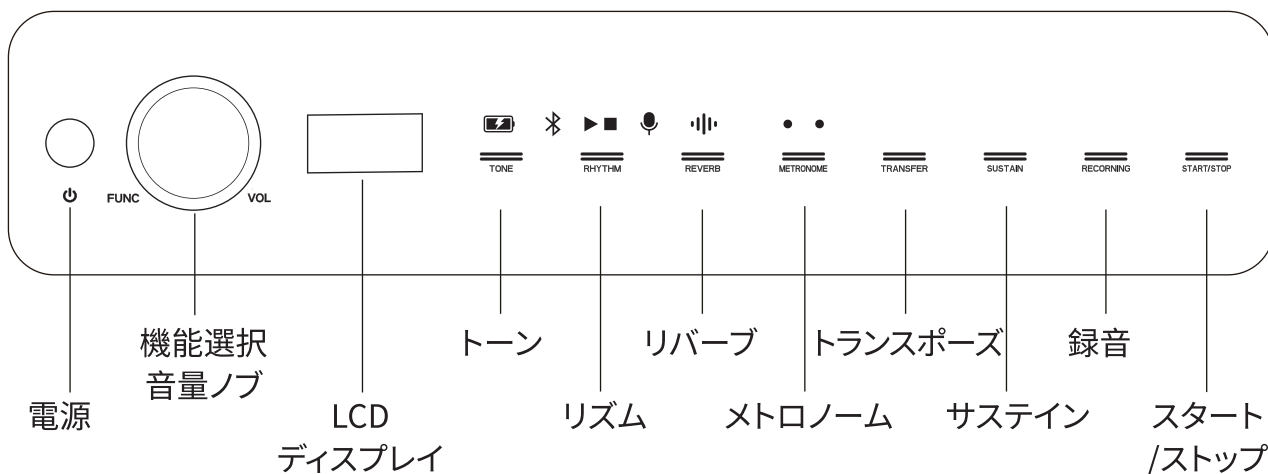
機能紹介

このセクションには、設定や演奏に関する準備情報が含まれています。電源を入れる前に、必ずこのセクションをお読みください。

商品外観



機能キーの紹介



機能インジケーター

録音、デモ曲、リズム再生中：
「スタート/ストップインジケーター」が点滅

Bluetooth機能が有効：白灯
Bluetooth接続中：青灯

バッテリー残量20%：赤灯がゆっくり点滅
バッテリー残量10%：赤灯が速く点滅
充電中：赤灯が点灯
充電完了：緑灯が点灯
電源を抜くとライトが消える

録音機能が有効：
「録音インジケーター」が点滅

リバーブが有効：
「リバーブインジケーター」が点灯

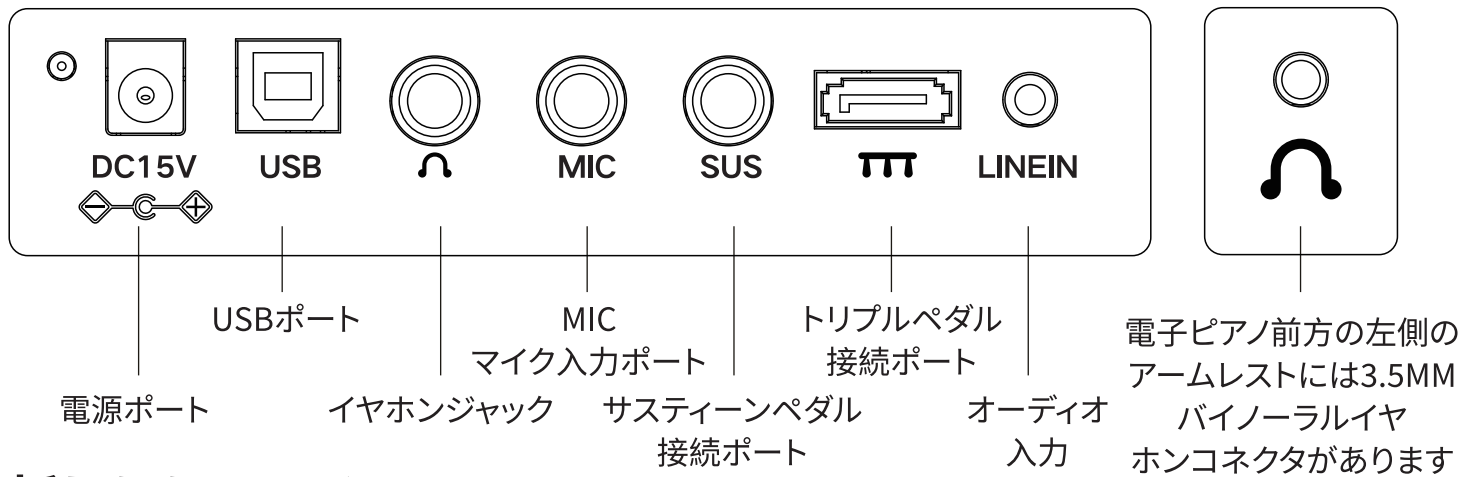
メトロノームが有効：
設定されたモードと速度に応じてインジケーターが点滅

タッチ機能キー：

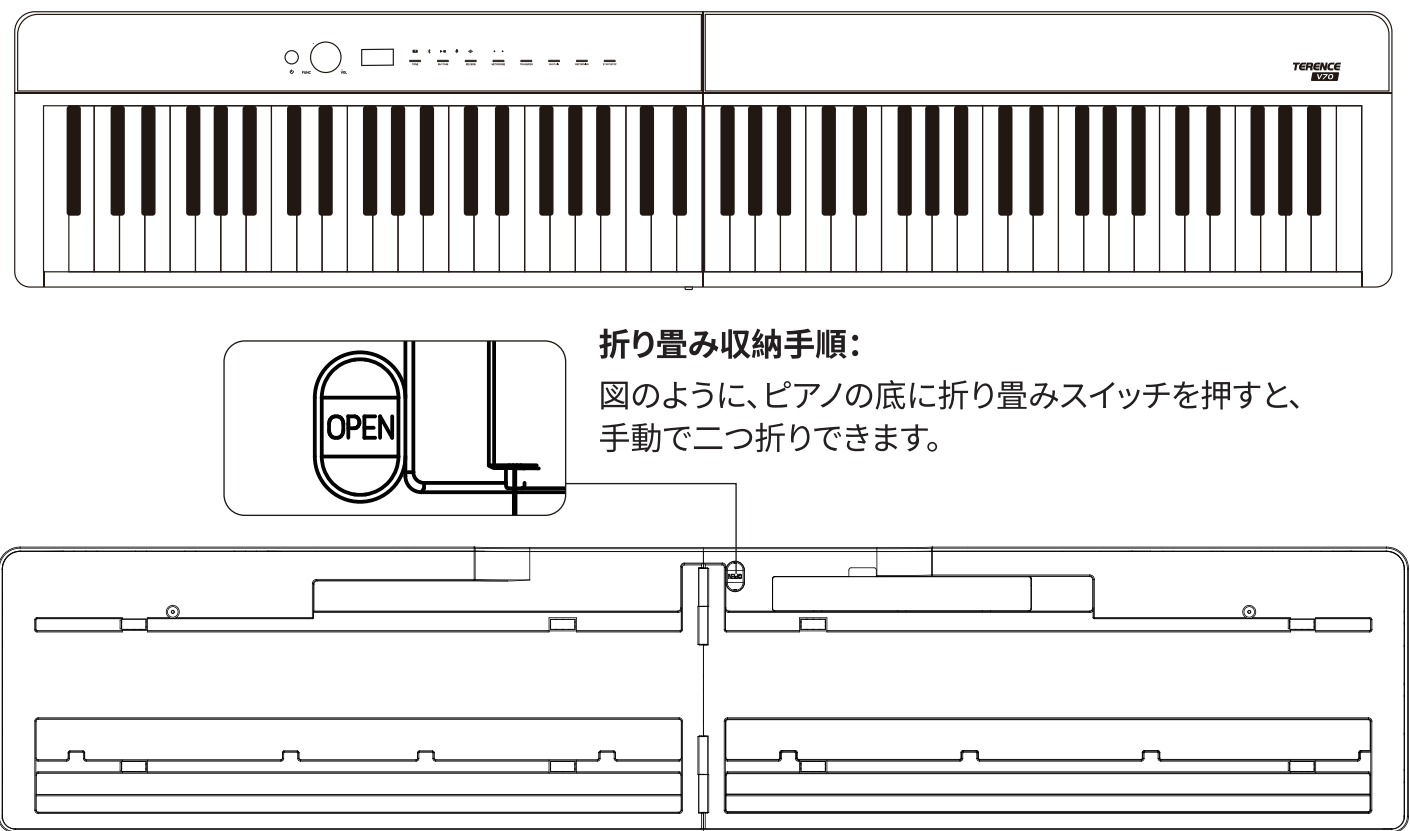
電源を入れると、機能キーが順番に点灯します。

対応する機能キーをタッチすると、その機能の設定メニューに入り、対応する機能キーのインジケーターが点灯します。設定終了後、3秒間操作がないと自動的に元の画面に戻り、すべての機能キーのインジケーターが点灯します。

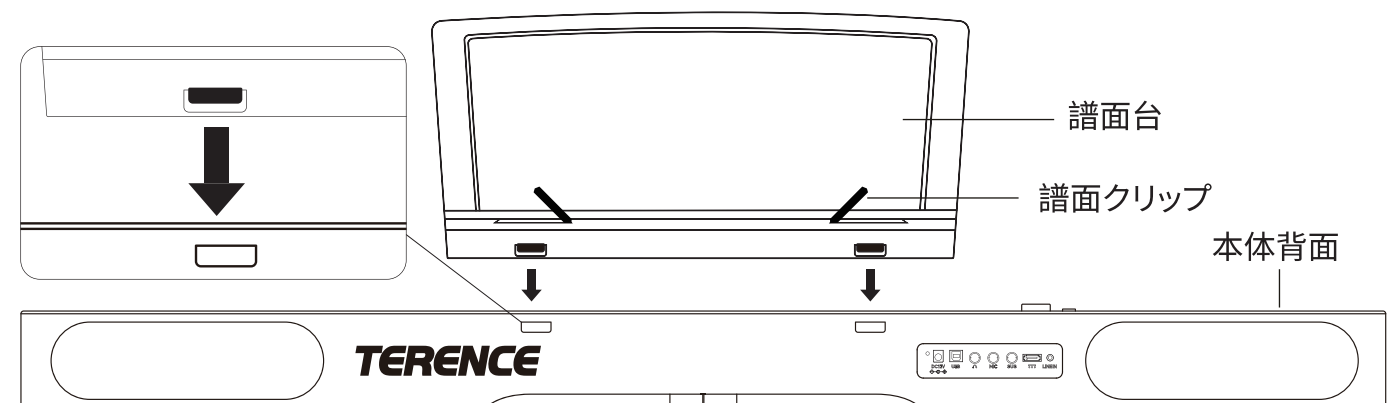
拡張インターフェース



折りたたみスイッチ



譜面台の取り付け説明



製品機能の説明

① 電源スイッチ

電源スイッチを3秒間長押しして、電源をオン/オフします。

② 機能選択と回転ボタン

【ボタン】電源を入れると、デフォルトで音量 (VOLUME) 調整モードになります。

左右に回して音量を調整します。音量は0から16の間で選択でき、デフォルトは12です。

音量調整モードで【音量ボタン】を押すと、機能メニューが表示されます。左右に回して機能を選択し、再度【音量ボタン】を押すと、その機能の設定画面に入ります。設定が完了したら、【音量ボタン】を押して設定を確定し、デフォルトメニュー画面に戻ります。5秒間操作がないか、【音量ボタン】をダブルクリックすると、デフォルトメニュー画面に戻ります。

③ トーン(Tone)機能

【トーン】ボタンを押し、【回転ボタン】を回してトーンを切り替えます。5秒間操作がないと、音量設定画面に戻ります。

【トーン】ボタンをダブルクリックすると、デフォルトのトーンに戻ります。

④ リズム(RHY)機能

【リズム】ボタンを押すとリズムが再生され、再度押すと停止します。【回転ボタン】を回してリズムを切り替えます。

リズム音量: 【リズム】ボタンを長押ししながら【回転ボタン】を回して、リズム音量を調整します。

リズム速度: 【リズム】ボタンをダブルクリックしてリズム速度調整画面に入り、【回転ボタン】を回して速度を調整します。

【回転ボタン】をクリックすると、リズム再生を停止します。

5秒間操作がないと、音量画面に戻ります。

⑤ リバース空間効果/リバース深度とデモ曲機能

【Reverb】ボタンをクリックすると、空間効果をオン/オフできます。空間効果が有効な状態で、【回転ボタン】を回して空間効果のタイプ(教会、ホール、コンサートホール)を切り替えます。

リバース深度調整: 【Reverb】ボタンを長押ししながら【回転ボタン】を回して、現在の空間効果タイプのリバース深度を5段階で調整します。

デモ曲: 【Reverb】ボタンをダブルクリックするとデモ曲が再生されます。【回転ボタン】を回してデモ曲を切り替えます。【回転ボタン】を短く押すと、デモ曲の再生を停止します。5秒間操作がないと、音量画面に戻ります。

⑥ メトロノーム(Metro)機能

【メトロノーム】ボタンを短く押すと、1/4、2/4、3/4、4/4、オフの順に選択できます。

メトロノーム速度: メトロノームが有効な状態で、【回転ボタン】を回して速度を調整します。

【回転ボタン】を短く押すと、メトロノーム機能を停止します。

5秒間操作がないと、音量画面に戻ります。

⑦ トランスポーズ機能

【トランスポーズ】ボタンをクリックすると、現在のキーが表示されます。【回転ボタン】を回して、C#からBまでの12のキーを調整できます。

【トランスポーズ】ボタンをダブルクリックすると、Cキーに戻ります。
5秒間操作がないと、音量画面に戻ります。

⑧ サステイン(SUS)機能

【サステイン】キーを押すとサステイン機能が有効になり、再度押すと無効になります。

⑨ 録音(Rec)機能

【録音】キーをダブルクリックすると録音が始まり、再度ダブルクリックすると録音が停止します。録音が完了したら、【録音】キーをクリックすると録音を再生できます。再度クリックすると、録音再生を停止します。

⑩ START/STOP 開始/停止機能

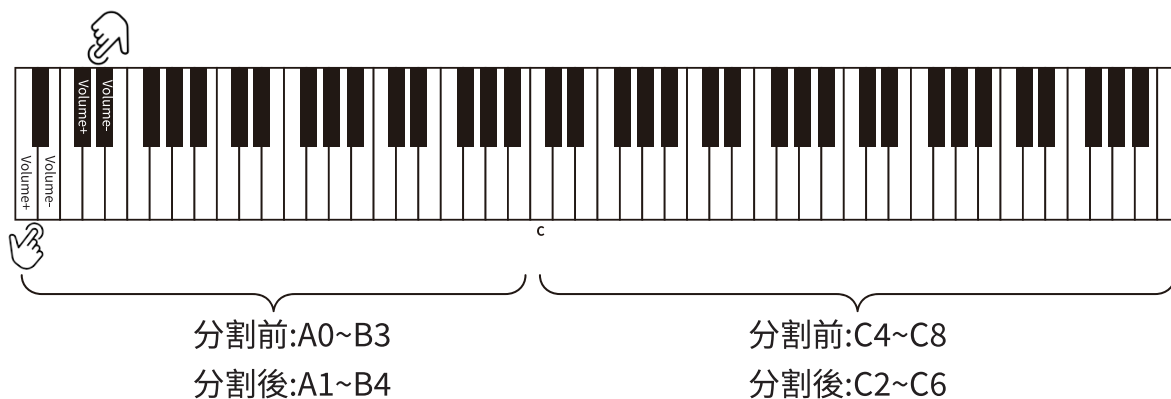
デモ曲を再生中またはリズム/メトロノーム/録音などの機能をオンにしている場合、【開始/停止】ボタンを押すとすぐに停止します。デモ曲を再生中でないか、リズム、メトロノーム、録音などの機能を起動していない場合、【開始/停止】ボタンをクリックするとすぐにリズム機能を開始できます。

⑪ タッチ感度機能

【音量ボタン】を短く押し、【音量ボタン】を回転させて【タッチ感度】を選択し、【音量ボタン】を軽く押してから左右に【音量ボタン】を回転させると、タッチ感度機能をオンにできます:オフ、軽い、中、重い。
5秒間操作がないと音量インターフェースモードに戻ります。

⑫ デュアルキーボード機能

【音量ボタン】を短く押し、【音量ボタン】を回転させて【デュアルキーボード】を選択し、【音量ボタン】を軽く押してから左右に【音量ボタン】を回転させると、デュアルキーボードをオンまたはオフにできます。デュアルキーボード機能をオンにすると、設定された音色が自動的にキーボードの右側の音色として認識されます。キーボードの右側の音色を切り替えるには、デュアルキーボード機能を使用する前に音色を設定する必要があります。キーボードの左側の音色を変更するには、デュアルキーボード機能をオンにした後、音色ボタンを押して切り替えます。選択後、左右の領域は2つの音色になります。デュアルキーボード機能がオンになっている場合、【音量ボタン】を長押しし、プロンプト音が聞こえた後、ディスプレイの内容が「キー選択機能」に変わります。次に、左から2番目の黒鍵または2番目の黒鍵を同時に軽く押すと、(デュアルキーボード機能) 右側のキーボード領域の音量+または音量-を制御できます。左側のキーボードの音量を調整するには、【音量ボタン】を長押ししながら、キーボードの左側の最初の白鍵または2番目の白鍵を軽く押すと、(デュアルキーボード機能) 左側のキーボード領域の音量+または音量-を制御できます。



13 デュアルトーン機能

【音量ボタン】を短く押し、【音量ボタン】を回転させて【デュアルトーン】を選択し、【音量ボタン】を軽く押してから左右に【音量ボタン】を回転させると、デュアルトーンをオンまたはオフにできます。デュアルトーン機能をオンにすると、設定された音色が自動的にメイントーンに切り替わります。メイントーンを切り替えるには、デュアルトーン機能を使用する前に音色を設定する必要があります。サブトーンを変更するには、デュアルトーン機能をオンにした後、音色ボタンを押して切り替えます。選択後、演奏すると2つの音色が重なります。デュアルトーン機能がオンになっている場合、【音量ボタン】を長押しし、プロンプト音が聞こえた後、ディスプレイの内容が「キー選択機能」に変わります。次に、左から2番目の黒鍵または3番目の黒鍵を同時に軽く押すと、(デュアルトーン機能)メイントーンの音量+または音量-を制御できます。サブトーンの音量を調整するには、【音量ボタン】を長押ししながら、キーボードの左側の最初の白鍵または2番目の白鍵を軽く押すと、(デュアルトーン機能)サブトーンの音量+または音量-を制御できます。

14 ビブラート機能

【音量ボタン】を短く押し、【音量ボタン】を回転させて【ビブラート】を選択し、【音量ボタン】を軽く押してから左右に【音量ボタン】を回転させると、ビブラートをオンまたはオフにできます。ビブラート機能をオンにすると、演奏中に音色にビブラート効果が生じます。5秒間操作がないと音量インターフェースモードに戻ります。

15 シンクロ機能

【音量ボタン】を短く押し、【音量ボタン】を回転させて【シンクロ】を選択し、【音量ボタン】を軽く押してから左右に【音量ボタン】を回転させると、シンクロ機能をオンまたはオフにできます。5秒間操作がないと音量インターフェースモードに戻ります。

16 サステイン機能

【音量ボタン】を短く押し、【音量ボタン】を回転させて【サステイン】を選択し、【音量ボタン】を軽く押してから左右に【音量ボタン】を回転させると、サステイン機能をオンまたはオフにできます。5秒間操作がないと音量インターフェースモードに戻ります。

デモ曲リスト

番号	日本語曲名	番号	日本語曲名
000	アニーの歌	015	カナダの少年だった頃
001	アニーの心境	016	金髪の恋人と
002	ト長調ロシア小変奏曲	017	蛍の光
003	愛のロマンス	018	噴水
004	ブラームスの子守唄	019	ガヴオット舞曲
005	口短調ワルツ	020	アメージング・グレイス
006	二長調カノン	021	1812年序曲
007	雨のリズム	022	子犬のワルツ
008	二長調ミュゼット舞曲	023	ロミオとジュリエット
009	ムーンリバー	024	ブーレ舞曲
010	ラデツキー行進曲	025	幻想即興曲
011	一步の距離	026	クロアチア狂詩曲
012	星空	027	月光ソナタ第3楽章
013	雪の夢	028	夢の婚礼
014	陽気な長調前奏曲とフーガ	029	ベイビーシャーク

トーンリスト

番号	日本語名	番号	日本語名
000	ポップピアノ	001	クラシックピアノ
002	ジャズピアノ	003	エレクトリックピアノ
004	教会オルガン	005	オルゴール
006	ナイロンギター		

リズムリスト

番号	ポップリズム	番号	ポップリズム
000	50'S BALLAD 50年代バラード	013	TOASTR シンプルポップ
001	60'S BALLAD 60年代バラード	014	TRANSX モダンポップ
002	BLUHILL シンプルポップ	015	VAPOR リリカルポップ
003	FEEL シンプルポップ	016	SURF I ポップ
004	FIDELITY リリカルポップ	017	ZZMILLYP シンプルポップ
005	GEORGEM シンプルポップ	018	60ROK 60年代ロック
006	SIMPLEJAM ポップ	019	80SYRCK 80年代ロック
007	SLOW1 ポップ	020	R,ROLL1 ロック1
008	SLOW2 ポップ	021	ROCK2 ロック2
009	SLOWRC ポップ	022	GITGROOV ロックギター
010	SMOOTHBEAT ポップ	023	HEARTROCK ロック
011	CHARL モダンポップ	024	TRACYCH ポップロック
012	CULCLUB ポップ	025	VENTURE ロック
番号	フォークリズム	番号	フォークリズム
026	LA_PBAL ポップフォーク	031	COUNTRYSHUFFLE1 カントリーシャッフル
027	POPMALAY ポップ	032	QUICKBEAT クイックビート
028	AG FRANK ソウルリズム	033	TWIST ツイスト
029	COUNTRY カントリーミュージック	034	SAILING シンプルポップ
030	BEGUNESWING ベギンスウィング		

トラブル対応

問題	原因	解決方法
演奏しても音が出ない	1.音量が最小に設定されている 2.ヘッドホンまたはプラグコンバーターがヘッドホンジャックに挿入されている 3.電源が接続されていないか、ピアノがオフになっている	1.音量を最大に調整する 2.ヘッドホンジャックから元のインターフェースを抜く 3.電源を入れ、電源状態を確認する
ペダルの故障	1.ペダルの接続ケーブルがピアノに挿入されていない 2.ペダルのプラグが緩んでいる	1.ペダルケーブルをピアノのジャックに挿入する 2.ペダルの接続側のプラグが緩んでいないか確認し、しっかりと固定する
ピアノの電源を入れたり切ったりするときにノイズが発生する	正常な現象	正常な現象で、このとき電流がピアノを通過していることを示しています
携帯電話を使用しているときにピアノから時々ノイズが発生する	無線干渉	ピアノの近くで携帯電話を使用すると無線干渉が発生するのは正常な現象です
音調やリズムがおかしい	電力不足	電源供給が不足している可能性があります。電源の安定性を確認してください
コンピューターに接続しているが認識されない	USBプラグが緩んでいる	追加のドライバーをインストールする必要はありません。 コンピューターがピアノを認識しない場合は、USBケーブルがしっかりと接続されているか確認するか、コンピューターの他のUSBポートに接続してみてください。

製品仕様

基本情報	ブランド:	TERENCE/テレンス
	モデル:	V70
	キー:	キー数:88鍵
		キーボードタイプ:ハンマーキーボード
	トーン:	内蔵トーン数:7種類
	音域:	A2-C5
特徴機能	Bluetooth:	Bluetooth MIDIおよびBluetooth Audioをサポート
	ディスプレイ:	LCDディスプレイ
	接続デバイス:	オーディオ入力/出力
		アップル/アンドロイド/Windows製品に接続
	スピーカー:	出力:フルレンジユニット20W2 高音ユニット5W2
		特徴:AR技術サウンドシステム、音響構造サウンドチャンバーデザイン
	教育:	APPスマート教育をサポート
パラメータ情報	サイズ:	折りたたみサイズ:669mm260mm210mm
		展開サイズ:1284mm260mm105mm
	重量:	≈10kg
	電源:	DC 15V 3A
その他の機能	トリプルペダル、チューニング不要、デュアルトーン、ビデオ内蔵録音、デュアルキーボード、音色重ね合わせ、リズム、デモ曲、移調、メトロノーム、録音、コード、キーボードドラムなど	

注意事項

このピアノのメンテナンスをしっかりと行うことで、寿命を延ばし、故障を減らすことができます。

電源アダプター

このピアノ専用の電源アダプターを使用してください。使用しない場合は、必ず電源をオフにしてください。長時間使用しない場合は、電源アダプターを抜いて適切に保管してください。

注意

このマークは、マークとこのピアノの誤った操作を無視すると、けがやその他の経済的損失のリスクがあることを示しています。

ロゴ例

 この三角形のマークは、ユーザーが注意すべき事項を示しています（左図は「感電に注意」）。

 円形のマークに斜線が引かれている場合は禁止事項を示し、このマークは禁止の具体的な内容を示しています（左枠は「禁止」を示しています）。

 黒点は遵守すべき事項を示し、このマークのアイコンは遵守すべき特定の内容を示しています（左枠は「電源プラグをコンセントから抜く必要がある」を示しています）。

警告

煙、臭い、過熱

ピアノから煙や臭いがする、または過熱している場合、使用を続けると損傷や感電の危険があります。このような状況が発生した場合は、直ちに次の操作を行ってください：

- 電源をオフにする。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 販売店に連絡する。

電源

電源を正しく使用しないと、損傷や感電の危険があります。以下の予防措置を遵守してください。



- このピアノ専用の電源アダプターを使用してください。
- 屋内定格電圧範囲内の交流電源を使用してください。
- 電源コンセントと電源延長コードを過負荷にしないでください。



電源コードの取り扱いが不適切だと、損傷や破裂を引き起こし、損傷や感電の危険があります。以下の予防措置を遵守してください：

- 電源コードの上に重い物を置いたり、加熱したりしないでください。
- 電源コードを変更したり、過度に曲げたりしないでください。
- 電源コードをねじったり、曲げたりしないでください。
- 電源コードやプラグが損傷している場合は、同じタイプの電源コードに交換してください。
- 電源コードやプラグを濡れた手で触らないでください。
感電の危険があります。
- 電源コードを湿った場所で使用しないでください。
- 感電の危険があります。花瓶やその他の水を入れた容器をこのピアノの上に置かないでください。感電の危険があります。



雷雨が来る前や長時間離れる前に、電源アダプターをコンセントから抜いてください。
このピアノを火源の近くに置かないでください。火災や内部電子部品の爆発を引き起こし、
潜在的な事故や人身傷害の危険があります。



製品の移動

このピアノを移動する前に、電源アダプターを抜き、次に他のすべてのケーブルと接続線
を抜いてください。そうしないと配線が損傷する可能性があります。

慎重に移動し、激しい振動や衝突を避けてください。外殻や電子部品が損傷する
可能性があります。



包装用ビニール袋

包装用ビニール袋はおもちゃではありません。子供が触れないようにしてく
ださい。窒息の危険があります。



ピアノの清掃

弱い溶液と洗剤で柔らかいタオルを湿らせ、絞ってください。清掃する前に、ピアノをオフにし、
電源アダプターを抜いてください。

塗料、シンナー、または類似の化学物質でピアノを清掃しないでください。



インターフェース

このピアノのインターフェースは、指定されたデバイスと装置にのみ接続してください。

ピアノの設置場所

- このピアノを不安定な表面やその他の不安定な場所に置かないでください。
落下してけがをする危険があります。
- 高温やほこりの多い場所に置かないでください。
- キッチンやその他の油煙のある場所に置かないでください。
- 直射日光が当たる場所に置かないでください。
- 過熱や湿気の多い環境にさらさないでください。



聴力保護

長時間大音量で音楽を再生しないでください。音量が大きすぎると聴力に損傷を与える
可能性があります。



重い物

このピアノの上に重い物を置かないでください。上部が過負荷になり、
製品や物体が落下する危険があります。



スタンドの正しい取り付け

スタンドが正しく取り付けられていないと、スタンドがたわみ、ピアノが落下してけがをする
危険があります。説明書に従って製品を正しく取り付けてください。



TERENCE